学校番号	411

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　3TRIAL 数学Ⅲ＋Ｃ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、丁寧な説明とわかりやすい板書に注意し、自ら考える力をつけるよう補助します。
・「内容を説明する（既習の内容で復習が必要なものも含む）→内容を理解する→実際の問題で使ってみる」→「理解を深める」といった一連の過程で定着を図ります。
・授業のノートを用意してください。
　ルーズリーフやレポート用紙を使うと、定期考査前に散逸してしまうことがあります。きちっとしたノートは、わからない内容を復習するのに不可欠です。
・問題集は授業と平行してやりましょう。数学では復習が大切です。授業のあと、家庭で問題集を解きましょう。テスト前にまとめてやるのでは力がつきません。
・課題は定期的に出します。たんに解答を写すだけで終わらず、わからなかった問題の解答をじっくり読んで考えてみて、やり直ししてください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
平面上のベクトル、空間のベクトル、複素数平面、式と曲線の考えについて理解させる。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察し表現する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
事象を数学的に考察し表現する能力を活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・数理的に考察し処理することや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・構成した数学的知識をいろいろな場面に活用できる。 ・文化や社会生活に数学が果たしている役割を理解している。	・数学的な見方や考え方を認識できる。 ・自らの思考過程を振り返りながらより問題の本質を探ることができる。	・多面的にものを見たり，理論性のあるいろいろな考えに触れたり，試行錯誤しながら考え，数学的な見方や考え方を学ぼうとする。 ・身近な事象を数学化し，積極的に数学を活用しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面上のベクトル	・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示	a:ベクトルの加法、減法、実数倍の計算の仕組みを理解している。図形の性質を、位置ベクトルを用いて証明できる。 b:和や差における逆ベクトル、零ベクトルの役割を理解している。位置ベクトルの一意性を理解し、図形の性質を証明できる。 c:ベクトルの演算に興味を持ち、数式の演算法則との類似点を考察しようとする。ベクトルを用いて円の性質を考察する意欲がある。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
2学期	空間のベクトル	・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形	a:座標空間において、点の座標や原点との距離が求められる。座標空間における線分の内分点・外分点の座標が求められる。 b:空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。空間のベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。 c:３点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとする。球面の方程式に興味を持ち、一般的な考察をしようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出

	複素数平面	・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形	a: 数理的に考察し処理することのよさや既習事項などを体系的に整理し活用できる。平面図形の性質や特徴を複素数平面を用いて表せることを知る。 b: 図形の性質や、図形と方程式の関係を、複素数平面を用いて考えることができる。複素数平面を用いて、いろいろな事象を数学的に考察することができる。 c: 複素数平面における考え方や体系に関心をもっている。複素数平面を用いて、図形を考察し、問題を解決しようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
3学期	式と曲線	・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・コンピュータの利用	a: 二次曲線の幾何的定義とその方程式を理解し、身に付けている。媒介変数表示や極方程式を理解し、いろいろな曲線の概形や性質を身につけている。 b: 二次曲線の方程式を導く過程を理解し、解析幾何的な方法で二次曲線の基本的な性質を考察できる。極座標と直交座標の関係を理解できる。媒介変数表示と極方程式の意味を理解し活用できる。 c: 二次曲線に関心をもち、基本的な性質を調べ、二次曲線を描いたり、具体的な事象に活用しようとする。媒介変数表示と極座標に関心をもち、表現しようとする。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度